

医療や介護を受ける際、知っておくと結果が良い方向に向かいやすくなる知識・情報がある。そのよ

うな内容のいくつかを、医療・介護の専門職から連載で伝えていきたい。

治療や介護を受ける際、知っておくと結果が良い方向に向かいやすくなる知識・情報がある。そのよ

うな内容のいくつかを、医療・介護の専門職から連載で伝えていきたい。

リハビリテーションという言葉をよく耳にする。今回はこのリハビリテーションはどのようなものなのか、といった機能障害に対し、リハビリテーションを受ける際に心がけると良いことを説明しよう。

リハビリテーションという言葉がよく耳にする。今回はこのリハビリテーションはどのようなものなのか、といった機能障害に対し、リハビリテーションを受ける際に心がけると良いことを説明しよう。

リハビリテーションという言葉がよく耳にする。今回はこのリハビリテーションはどのようなものなのか、といった機能障害に対し、リハビリテーションを受ける際に心がけると良いことを説明しよう。

リハビリテーションという言葉がよく耳にする。今回はこのリハビリテーションはどのようなものなのか、といった機能障害に対し、リハビリテーションを受ける際に心がけると良いことを説明しよう。

リハビリテーションという言葉がよく耳にする。今回はこのリハビリテーションはどのようなものなのか、といった機能障害に対し、リハビリテーションを受ける際に心がけると良いことを説明しよう。

リハビリテーションという言葉がよく耳にする。今回はこのリハビリテーションはどのようなものなのか、といった機能障害に対し、リハビリテーションを受ける際に心がけると良いことを説明しよう。

リハビリテーションという言葉がよく耳にする。今回はこのリハビリテーションはどのようなものなのか、といった機能障害に対し、リハビリテーションを受ける際に心がけると良いことを説明しよう。

リハビリテーションという言葉がよく耳にする。今回はこのリハビリテーションはどのようなものなのか、といった機能障害に対し、リハビリテーションを受ける際に心がけると良いことを説明しよう。

知って得

医療・介護

藤田医科大学七葉記念病院

病院長 園田 茂



1 リハビリテーション

リハビリテーションは、障害があるなりに、力などが含まれる高次脳機能障害にも及ぶ。この障害への対応には二通りのやりかたがある。一つは障害そのものを治すことである。臥床が続いて足の筋力が弱ったことに

筋力トレーニングをして、筋力を低下したり、関節の動く範囲が狭まったりといった機能障害に対し、適切な装着がえや歩行といった日常生活が困難になったことに対し、その改善をはかることがリハビリテーションである。リハビリテーションが扱う領域は手足の動きの障害に留まらず、嚥下・構音障害や、認知・判断

たは、障害があるなりにやれる方法を工夫して練習することである。左上肢が麻痺して動かすことである。臥床が続いて足の筋力が弱ったことに

すことが難しくても補った別の方法を使って出来るように努力するのがリハビリテーションということになる。障害は必ずしも完治す

え、どのようなかリハビリテーションがベス

トなのか、方法を身につけるかを指導するプロであり、練習を組み立てたり助言したり、ともに動かしたりする。動作を身につけるには患者さん本人が繰り返し動かして覚えることが必要である。

要であり、療法士にされるがままになっていて身につくものではない。受け身で無く主体的になることが大切である。

リハビリテーションの基本が分かれば、リハビリテーションが必要となつた際に、何でもなおして貰おうという気持ちと、現実とのギャップに悩まされる度合いが減るであろう。自らがなんとかしようという気持ちにもなり、どのような目標を立てて進んでいけば良いかも理解しやすくなると期待できる。リハビリテーションをうまく活用して生活の質を高めて戴きたい。